

2022年度 ルネサンス大阪高等学校 学校関係者評価

氏名:三溝 雄史

ルネサンス大阪高等学校との関係:外部スクールカウンセラー（公認心理師・臨床心理士）

評価日時:2023年6月23日

【学校自己評価に対するコメント】

本校でスクールカウンセラーとして勤務しております。職種上、生徒指導や教育相談を中心に評価を致します。

通信制高校には、対人関係、集団活動、学習面などで困難を抱えていたり、スポーツや文化などの活動と両立させたい、働きながら学びたいなど、さまざまな理由で生徒が入学してこられます。本校では、こういった生徒のさまざまなニーズに応えながら、学習環境を整え、高校生活をバックアップする体制を整えています。

通信教育に関する点につきましては、2019年(令和元年)度から2021年(令和3年)度までの関係者評価でも述べましたが、さらに本校では、通学スタンダードコース、e スポーツコース、アコピア K-POP コースなどの生徒が取り組むことができるコースも、プラスアルファとして用意されています。また、イベント、文化祭、部活動といった課外活動も設けられており、生徒が参加できるようになっています。

このように、友人と関わったり、力を合わせて成し遂げていく経験をするといった、集団の中で力を育むことができる環境も用意されていますが、“器”を作っておくだけでなく、活動の中に教職員も一緒に参加して、生徒と関わり合い、生徒の生きていく力をサポートしています。

小学校や中学校で不登校になったものの、高校生活では、通信教育で勉強をしながら、通学をして対人関係を築いたり、高校生活を充実させたい思いを抱いている生徒も多くおられます。ただ、対人関係の面で、生徒同士の関係がうまくいかなることもあります。教職員は、生徒の思いを汲みながら適切に関わり、関係のうまくいかなさも学びとして、友人や大人に対する信頼感を増したり、人間関係をつくっていく力をサポートすることを大切にされています。

社会の変化により、生徒を取り巻く状況は刻々と変化していますが、教職員の方々も日々生徒と関わりながら、専門的な研修を受け、知識や関わりをアップデートして、生徒たちの現状を理解しておくことが、今後も社会の中で必要とされる通信教育の充実につながると考えられます。